



# 日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り  
第 53 号  
2015年10月20日  
編集兼発行人  
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



## 「筑波山落陽」

撮影者：井出英雄  
撮影日：平成 24 年 11 月 24 日  
カメラ：Canon EOS KissX2 絞り：f5.6  
シャッター速度：1/250 焦点距離：250mm  
場所：ひたちなか市の自宅から筑波山を望む  
撮影余話：9階の我が家からは太平洋、関東平野、筑波山、日光・那須連山、阿武隈山地の南端までほぼ 360 度の眺望がある。私は特に夕日を撮影するのが好きだ。冬は筑波山の南側、夏は日光男体山の北側まで移動する落日は、晩酌前の楽しいひととき。夏場はもやがかかり男体山はめったに見えないが、見えないはずの男体山が夕日にあぶり出されて影絵になる条件の日を待つのも毎年の楽しみだ。

## リレー随筆 (53) スキーを楽しんで 大島 俊彦



私がスキーの実物を見たのは高校 2 年生。1958 年日立に入社、日立会の家族スキーが盛んな時代で 60 年から参加、蔵王で特訓を受けたのが始まりである。兎に角歩くこと、丸まったエッジで斜面を登り緩斜面をおっかなびっくり滑ったこと、汗みずくで全身筋肉

痛になったことを覚えている。

私のスキーは日立会で育てられたもの。当時は週 6 日制で国鉄の夜行又は貸切バスで代休をやりくりしながら参加した。その内年長組となり皆を引き連れて歩くようになり、昔の恩返しで初心者への指導をやるようになった。自家用車の普及で正月スキーの参加者が減り中止したが、山岳部のみで出かけ、日立会スキーは 3 月に 1 泊のみで行くこととした。

スキーが上達してきたと感じたのは 70 年代末にスピードスケートを覚えてからである。薄い刃の外から内側に乗り換えながら滑走するバランス感覚を身につ

けてスキー上の体重移動が容易になった。

90 年代初めは職務上日立会スキーにも参加できず、唯一正月休みに家族スキー旅行を土浦工場奥志賀山荘で過ごした。

長野オリンピック前の時代である。99 年 1 月ニセコアンヌプリに出かけ、カービングスキーの履き初めをした。エッジを効かせるのみで楽に曲がれる、年を取っても続けられる、スキーも進歩することを実感した。

2000 年代引退して待望の海外へ出かけることにした。カナディアンロッキーは長年の憧れでありスキーツアーに 1 人で参加した。ツアーといっても飛行機の乗り換えと到着時の足の世話のみで、他は個人旅行である。ロッキーは雪質が素晴らしく森林限界線の上から滑って来る醍醐味は何とも言えぬほど快適であった。スキー場は 3ヶ所有り交互に楽しんだ。バンフ・スプリングス・ホテルに泊まり、温泉に入り、町で美味しい食事を食べ歩く夢のような生活で、4 回も出かけた。機会があればまた出かけたと思っている。国内では日帰りは羽鳥湖、連泊は安比スキー場が多い。あの爽快感と景色に魅入られて、体力の許す限り続けようと考えている。



1999 年 1 月 31 日 羊蹄山



1986 年 3 月 1 日 山形 天元台スキー場 日立会



2003 年 2 月 9 日 カナダ  
レイク ルイーズ スキー場  
標高約 2,300m 地点

# 卓球について

《戦略は囲碁・将棋・ゴルフにも通じる》

綿引 邦彦



## 卓球クラブ

ご存知ですか？  
 卓球クラブ茨城支部同好会には卓球クラブがあります。水曜日の午前

中日立会瀬体育館で練習しています。会員は三十名、女性は八名、卓球元茨城選手権者の坊坂明さんもいて楽しいクラブです。目的はそれぞれ、健康のため、仲間と交流のため、卓球技を磨き試合に参加する方いろいろです。卓球ボールには日本独特のラージボールと公式のボールがあり、我々は両方の試合に日立友光会のチーム名で参加しています。

## 卓球の歴史

卓球は十九世紀にイギリスの貴族が食後にシャンパンの箱の蓋で打合つたボールを葉巻の箱の蓋で打合つたと言われている。一八九一年ジェームズギブがセルロイドの球をラケットで打合つた。打音からピンポンと名付けられた。日本へは一九〇二年、東京師範学校教授の坪井玄道が英国から規則を持参した。一九二一年城戸尚夫(元日本卓球協会副会長)が「卓上の球技」、「卓越した球技」を元に「卓球」と命名した。日本が国際卓球連盟に加入したのは一九二八年であり、一九五四年から一九七三年まで日本が世界をリードしていた。荻村伊智朗や日立製作所の角田啓輔(現茨城卓球連盟の顧問)の活躍で一九五四年男女共に団体優勝など世界の覇者だった。

一九八八年ソウルオリンピックで卓球が正式種目になり、韓国が男子シングルで金、中国が女子で金銀銅を独占。二〇〇八年北京オリンピック

クから団体戦が加えられ、中国が連覇しているが、二〇一二年ロンドン大会で日本女子が銀を獲得した。

## 卓球の試合

試合にはオリンピックや世界選手権レベルから市民大会までさまざま大会があり、卓球を好む人は囲碁や将棋、ゴルフを好きな人が多い。試合は囲碁将棋同様、台を挟んで相手相手の目を見て心理面を含めてチャンスをつかおう。また、ゴルフと同じように、意図する場所へボールを運べば思い通りに試合はできる。試合では対戦相手の読みをはずし、自分の戦略を進めると良い。先の世界選手権大会で日本の平野選手が2セット先取られ3セット目も4対9の劣勢から相手の弱点を突いて歴史的な逆転勝利を挙げた。地方大会では初セット11対0で負けても逆転する試合がある。試合中に相手の心理を読み弱点を見抜き攻撃できれば勝てる。初セットは11対8や11対9で勝ち次のセットへ進めれば集中力が継続してよいと思う。

## 卓球用具

卓球のボールは日本で開発された直径44mmのラージボールと公式の試合で使われる40mmがある。ラージは11本3セットマッチ。公式は一般に11本5セット。ネットの高さもラージは17・25cmで公式は15・25cm。

卓球の試合は用具で勝敗が決まるほど用具選定が重視されている。特にラバー。ラバーで球種を変えることができる。中国が強豪の理由に身体能力のほかに粒高ラバーや粘着ラバーを開発活用した。ラケット形状も研究し、独自のペングリップを編

み出しペンで裏打ち攻撃を可能にしてきた。ラバーでは日本の卓球用具メーカー、バタフライが開発したテナーラバーが現在の最高ラバーで中国業者が日本で買占め価格が高騰している。世界レベルを見ると中国の卓球人気が少しかげりを見せ始めているので日本にも再度チャンスが来るだろう。

## 卓球のランキング

ランキング入りするには対象試合で世界ランキング入りしている選手に二勝すればいい。石川佳純は5位、福原愛が6位、日立化成の森園、北岡、松沢選手等も世界ランキング入りしている。世界ランキング上位に入っている場合は、茨城県予選なしの推薦で全国大会に行ける場合がある。

ランキングの順位はレーティングポイントとボーナスポイントの和である。自分より上位の選手に勝つとポイントが加算され、下位選手に破れるとポイントは下がる。ボーナスポイントは大会で入賞した場合などに与えられるポイントで、一年が期限で次の年にはそのポイントはゼロになる。アジア大会やオリンピックで獲得したポイントは毎年二十五%減じる。日本女子がオリンピックで銀メダルを獲得して卓球が盛んになり、中学生の伊藤美誠や平野美宇がランキング入りしたが、対象試合に八ヶ月参戦しないとランキングから抹消される。中国や他の国にはランキング外の強豪が沢山いる。

## 卓球の力(会員村上勝雄記)

この話は当時ハナタレ少年であった私が、ピンポンってすごい力をもっているんだなあと感じた、あの

ピンポン外交のことである。文化大革命以降、世界から孤立していた中国を一九七〇年、日本のスーパースター荻村伊智朗が訪問し「来年日本で開催される世界選手権に出席せんか」と誘った。毛沢東がこれを承認。これがきっかけとなり欧米卓球界も中国を誘った。そして一九七二年の劇的なニクソン大統領、その後の田中角栄が中国訪問を実現し毛沢東とがっちり握手をしたのである。

一九九一年、国際卓球連盟の会長をしていた荻村は、朝鮮戦争で分断されていた南北朝鮮統一チームでの初参加を呼びかけ実現させた。時を経て、中国・南北朝鮮の関係も元の木阿弥に陥っているがピンポン外交は続いている。残念ながら荻村さん是一九九四年に六二歳で亡くなったが、その前に「ノーベル平和賞」を与えるべきだったと私は今も思っている。



卓球クラブの会員一同

綿引 邦彦氏 連絡先

〒316-0032 日立市西成沢町 4-9-23  
 電話 0294-37-1491

メール: perroygato4923@net1.jway.ne.jp

同好会行事に参加して

第 65 回研修会 「いわき地区のエコ事業  
所見学」 奥村 清



昨春、社友会に入会させて戴き今回  
いわき地区の見学会に参加しました。  
午前中は(株)クレハ/いわき事業所を見  
学しました。

敷地面積 112 万㎡(33 万 9 千坪)の工場ですが、従業員は約 1,000 人とのことです。45,000 kW の石炭火力の自家発電を有するエコの工場です。

昼食後小名浜港の東端岬の三崎公園にあるマリントワーからいわき一円を展望し、更に一部の人は三崎公園潮見台から太平洋の断崖絶壁を鑑賞しました。

その後、いわき大王製紙(株)を見学しました。敷地面積 33.7 万㎡(10 万 2 千坪)、従業員約 200 名(協力会社を含めると 500 名)、約 41,000 kW のバイオマス自家発電と 250kW のソーラー発電を有するエコの工場です。両工場とも装置産業の工場の為、広い敷地の割に人が少なかったのが印象的でした。

なお、この度研修会の世話人を拝命しました。

「写真五七五」 長谷川 孝



昨年 4 月、偶然にメンバーの 1 人に誘われ「写真五七五」に参加した。入社したての頃に誘われて何年か俳句の真似事を経験して以来、数十年ぶりの俳句との再会となった。

その動機は俳句と写真との融合という新しい表現形

態に惹かれたことである。デジカメで四季折々の日本の風景や人々の営みなどを写し取り、その 1 枚に向き合い五七五で表現することに楽しみを見つけた。

参加してみると通常の句会と違い、講師選や互選、高得点句の発表もなく、参加者が気軽に感想を述べたり推敲し合う、この「緩やかな句会」という形式も初心者には入り易いと感じた。句会後の昼食会もまた楽しい。いわゆる「写真俳句」はデジタル時代の中で裾野を拡げていて、インターネット上にも多くの投稿サイトがあり、楽しみでもあり又参考になる。

先輩の厳しくも機知溢れる句評をバネに写真五七五を楽しんでいきたい。

「ホームページの会」 伊藤 甫



「HP の会」に参加しようとしたきっかけは、品質保証研究会のエラーマネジメント研究会を長く主導されてきた先輩から、「それまでの研究成果をHPで情報発信したいが、HPの

作り方を知っているか？」と聞かれたことによる。

今年度から“よくわかるホームページビルダ 16”を用い、既にHPを開設した経験のある先輩方が講師に立ち、テキストの最初から 1 ページ 1 ページ丁寧に説明いただいている。テキストのほぼ半分を終わり、HPの製作がどのようなものか分かりつつある。最近では月 1 回の例会が楽しみになっている。

先輩方が前向きでチャレンジ精神が旺盛なのは驚いている。それが結果としてHPのコンテンツによく現れており、先輩方を見習わなければとの思いを強くしている。

支部からの お知らせ

理事会・茨城支部役員会報告

\* 第 64 期-第 4 回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成 27 年 9 月 3 日(木)
2. 議事
  - ・新入会員の件：  
86 名が入会され、9 月 3 日時点の会員数は 6,465 名となった。
  - ・第 65 回日立社友クラブ総会の件：  
10 月 2 日(金) ホテルニューオータニで実施。  
長寿祝 白寿：6 名 米寿：75 名  
喜寿：399 名

\* 平成 27 年 9 月 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成 27 年 9 月 7 日(月)
2. 議事
  - ・新入会員の審議：  
新入会員 1 名の審議が行われ、入会が承認された。9 月 7 日現在で茨支部会員数は 1,072 名となった。
  - ・支部事務局員交代の件：  
滝川 嘉夫氏が退任し、後任に中村 浩三氏の就任が承認された。

・同好会本部の大みかクラブ移転について：  
日立事業所のご支援のもと、10 月 15 日(木)に引越しを完了し、心機一転、大みかクラブの新拠点で再スタートすることになりました。会員皆様の活動の拠点として多に活用されることを期待しております。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知致しておりますので、ご確認の上納入下さるようお願い致します。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

森	竜二	平成 27 年	5 月 9 日	享年 83 歳
岸野	龍夫	平成 27 年	5 月 27 日	享年 87 歳
岩上	誠一	平成 27 年	7 月 8 日	享年 79 歳
関野	陽	平成 27 年	7 月 8 日	享年 81 歳
澤島	寛	平成 27 年	7 月 14 日	享年 93 歳
佐藤	彰男	平成 27 年	7 月 20 日	享年 75 歳
桜井	博一	平成 27 年	7 月 30 日	享年 91 歳
関	敏夫	平成 27 年	8 月 5 日	享年 76 歳
曾根田	瑞夫	平成 27 年	8 月 15 日	享年 87 歳
木暮	宏政	平成 27 年	9 月 7 日	享年 80 歳
星	稔	平成 27 年	9 月 20 日	享年 73 歳

## 同好会の行事ご案内 (11月～1月)

### 1. 第66回研修会

#### 【日立土浦事業所と霞ヶ浦環境科学センター見学】

日立製作所土浦事業所と茨城県霞ヶ浦環境科学センター、霞ヶ浦ふれあいランドを見学します。帰路に重要文化財の山門と大イチョウで有名な西蓮寺を参拝致します。

皆様の参加をお待ちしております。

- ・開催日：平成27年11月27日(金)
- ・集合：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 8:00  
日立電鉄交通サービス南営業所 8:20
- ・帰着：大甕駅前 17:50頃の予定
- ・会費：5,000円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：10月30日
- ・申込先：石田 和夫

Tel/Fax：0294-34-0209

E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

### 2. 第63回歩こう会【紅葉の大地の街歩き】

最初に永源寺へ、別名「もみじ寺」と言うだけあって全山もみじに囲まれ見応え十分、山々の紅葉を眺めながら、大地盆地の秋日を皆さんと共に楽しいウォーキングを計画しました。

- ・開催日：平成27年11月12日(木) 雨天11月26日
- ・集合：大子駅 10:37 駐車場：文化福祉会館裏(無料)  
JR御参考：往路 水戸発 9:22→大子着 10:37  
復路 大子発 13:51→水戸着 15:07
- ・コース：大子駅(出発 10:45)→永源寺(もみじ寺)→蒟蒻神社→十二所神社→芭蕉の歌碑→久慈川西岸遊歩道→道の駅奥久慈だいが(12:45頃昼食)→湯の里大橋→大子町役場→大子駅 13:30着(解散)  
総距離約5.3km 概ね平坦
- ・持参品：弁当、飲物、雨具等
- ・会費：200円(非会員500円)
- ・申込締切：11月5日(木)
- ・申込先：歩こう会南地区世話人 垣貞 玲吉  
Tel/Fax：029-274-1727  
E-mail：kakisada@ae.auone-net.jp

### 3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考	
		11月	12月	1月				
野鳥自然観察グループ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	16(月)			小山ダム	9:00～	参加費:¥300/回 原則雨天中止	
			21(月)		久慈川河口	9:00～		
				18(月)	千波湖	9:00～		
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	11(水)	9(水)大会	13(水)	大みかクラブ	10:00～ (大会 9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥1000	
		25(水)	23(水)	27(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	19(木)	17(木)	21(木)大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700	
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	9(月)	14(月)	12(火)	明治商会	10:00～	参加費:¥1700/回	
		24(火)		25(月)				
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	4、11 18(水)	2、9 16(水)	6、13 20(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥4500/年	
デジカメクラブ	若島喜和 0294-24-2425 wakasima@net1.jway.ne.jp	2(月)	7(月)	7(木)	大みかクラブ	10:00～ 15:00	参加費:¥300/回 昼食別途	
写真五七五	武田孝一 0294-36-1469 takedaks@future.ocn.ne.jp	6(金)	4(金)	8(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途	
パソコングループ	HPの会	中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	3(火)	1(火)	5(火)	大みかクラブ	10:00～ 15:00	参加費:¥300/回 昼食別途
	基礎講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	10(火)	8(火)	12(火)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
	勝田地区	渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	25(水)	22(火)	26(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	続PSE13講座	安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	20(金)	18(金)	15(金)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
ExcelPT講座		26(木)	24(木)	21(木)	会瀬青少年の家	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む	

注) 旅行会(連絡先; 安田 出)は、開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

#### 第11回 デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同で写真展を開催します。会員が撮影した傑作や楽しい写真がいっぱいです。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご来場をお待ちしております。

- ・日時：11月19日(木)～23日(月) 9:00～17:00  
(初日は12:00から、最終日は15:00まで)
- ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー

**編集後記** リレー随筆の大島俊彦さんはスキー、会員投稿の綿引邦彦さんは卓球、お二人ともアウトドア・インドアの違いはあれ、心から楽しみ、継続することで、老いへの加齢スピード抑制に努めておられます。ホットニュースでは、ラグビー・W杯2015で日本が南アフリカに歴史的勝利を収めました。一念発起すれば道は開かれることを実証。卓球も、嘗ての栄光よ再びを期待したいですね。

長島重和